

# 台風の強風に負けない飼料用とうもろこし栽培

～試験場との連携により導き出された倒伏に強い栽植密度～

活動地域：北海道釧路総合振興局 釧路市、白糠町、鶴居村

## 課題

- 近年の台風により牛の重要な飼料である飼料用とうもろこしに倒伏被害が頻発
- 収穫量の減少、品質の劣化



## 方策

- 強風に負けないとうもろこし栽培の実証
  - ・栽植密度を減らして1本を太くする
  - ・専用機器により、耐倒伏性の確認
- 栽植密度試験により、耐倒伏性に優れた栽植本数を確認

根釧農業試験場との連携により効果的な試験方法が実践された

## 【普及の活動】

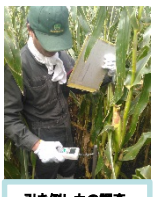
管内4カ所に試験展示ほを設置

平成26年～27年 栽植密度試験を実施  
平成28年～29年 実規模で実証試験

- 耐倒伏性に優れた飼料用とうもろこし栽培 → 栽植本数を減らしてもTDN収量は確保

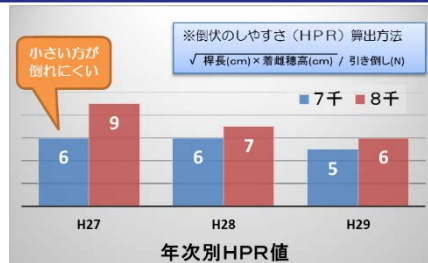
### 【主な活動】

- ・7千、8千、9千本/10aに区分し、各種調査を実施
- ・専用測定機器を使って数字で耐倒伏性を評価

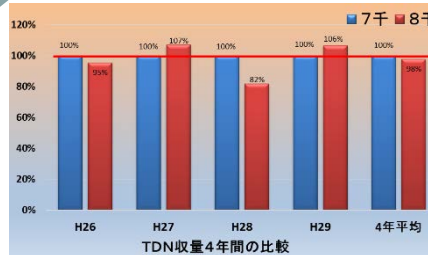


## 【活動の成果】

栽植本数7,000本台が倒伏に強い



7000本/10a台の穂体は太く、着穂高が低い → 耐倒伏性に優れる



7000本/10a台では根張りも良い。

## 【成果の波及】

リーフレットを全戸配布

## 【波及効果】

栽植本数7,500本以下を実践したほ場で倒伏被害が低減！



栽植本数を減らしてみませんか？ ～2年間の調査結果より～

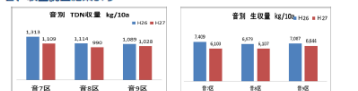
- 管内では、平成25年、27年の二回にわたりに台風、台風の影響で倒伏被害が発生しました。そこで、平成26～27年より管内、管内に4カ所の試験ほを設置して調査を行いました。
- 栽植本数を減らしても収穫量の確保が可能な、7,000本、8,000本、9,000本の3段階。
- 調査実施：管内（TAMセンター）に依頼して（※文中の地名は省略）

### 1. 設定栽植本数・・・実際の本数

年次	7000本	8000本	9000本
H26	7,579	8,324	8,144
H27	8,898	8,179	9,389

※7,000本は、6,800本～7,500本で補填。

### 2. 収量調査結果より



### 3. びびり強度試験結果より

